

HIACE モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番:MSD41-26003
MSD41-26004

設定型式:TRH21# TRH22#/GDH21# GDH22# 設定グレード:フロントフォグランプ付車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検してください。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないでください。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意してください。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名ずつ2名で作業を行なってください。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** ■プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- 重要** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取ってください。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離してください。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なってください。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なってください。49N(5kgf)以上
- 重要** ■フロントスポイラー固定用のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なってください。

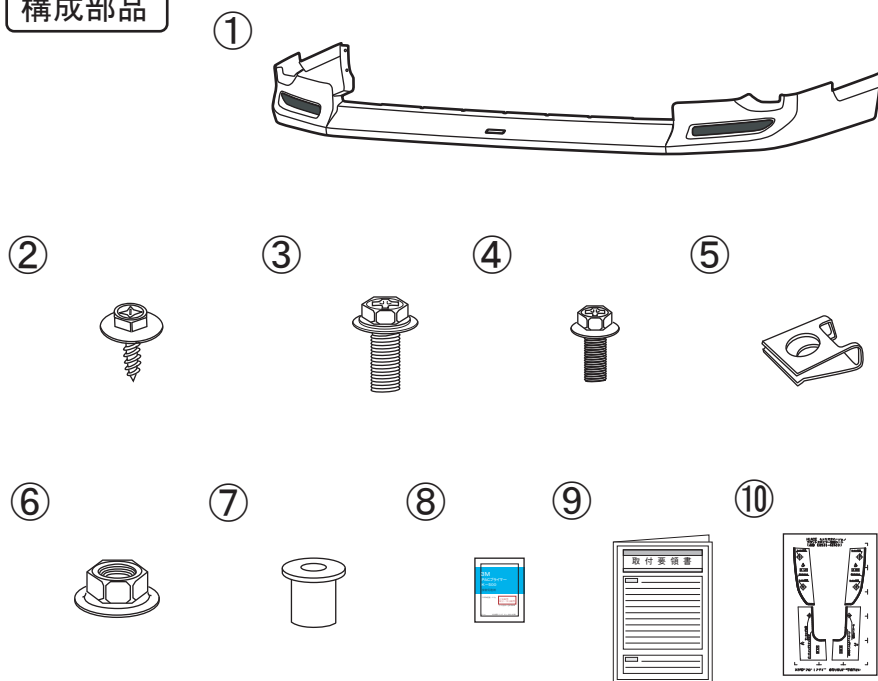
取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

△ 注意 …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

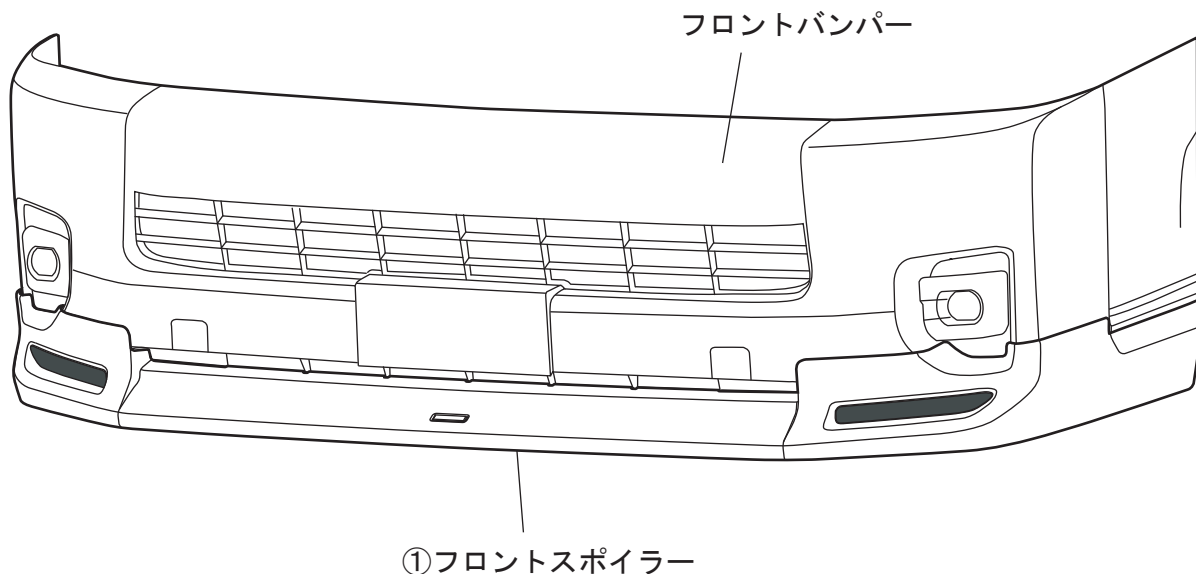
👉 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



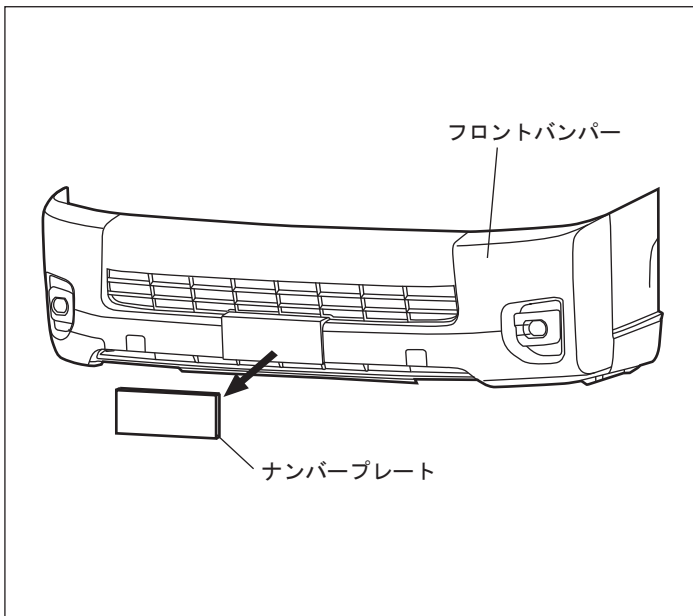
No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングビス	2
③	M6 ボルト	2
④	M5 ボルト	4
⑤	J ナット	2
⑥	M6 ナット	2
⑦	ウェルナット	4
⑧	PACプライマー-K500	1
⑨	取付要領書	1
⑩	型紙シート (A・B)	1

取付概要



取付手順

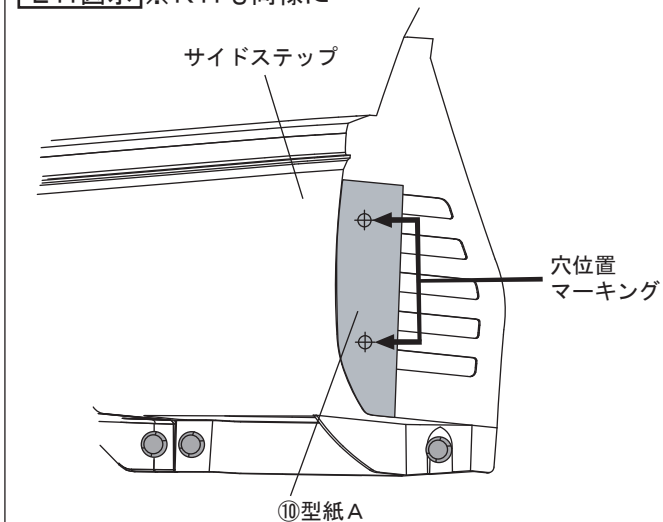
1. 取付概要



1. 車両修理書に従って、ナンバープレートを取り外します。

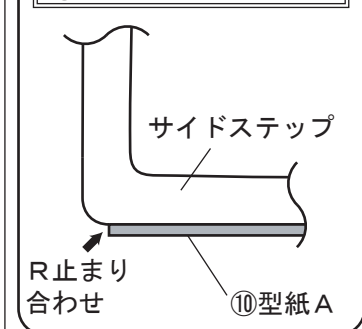
△注意：取り外したナンバープレート、車両部品、は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

LH図示 ※RHも同様に

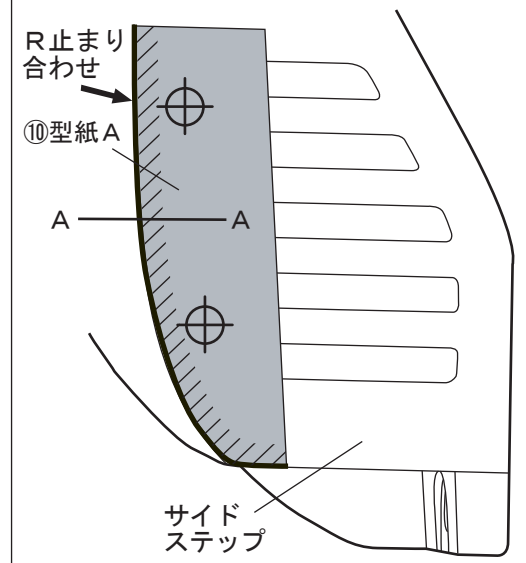


2. ⑩型紙Aをフェンダーアーチ部に合わせて貼り付けます。(下図参照)
3. ⑩型紙Aの穴開け位置をキリ等でマーキングします。(左図参照)

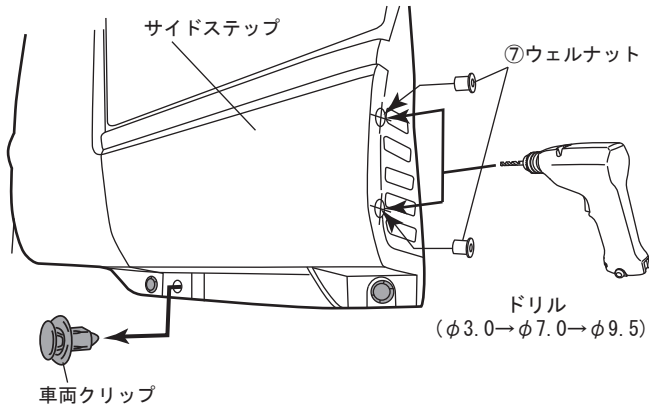
⑩型紙A A-A断面図



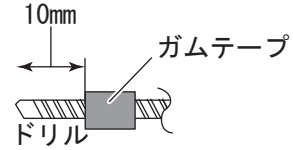
⑩型紙A貼り付け方法詳細図



LH図示 ※RHも同様に



4. ⑩型紙Aを剥がし、マーキングした位置をドリルで穴を開けます。
(ドリルφ3.0→φ7.0→φ9.5) (左図参照)

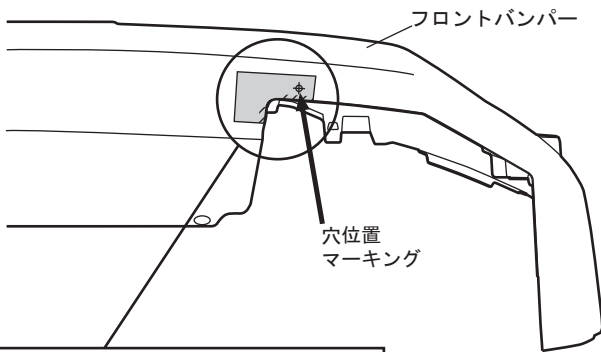


△注意：取り外した車両クリップは再使用しません。

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

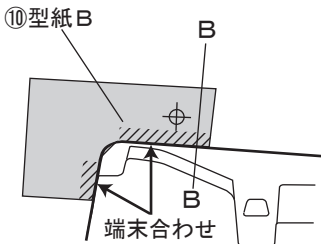
5. 開けた穴に⑦ウェルナットを差し込みます。
(左図参照)
6. サイドステップを固定している車両クリップを取り外します。(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

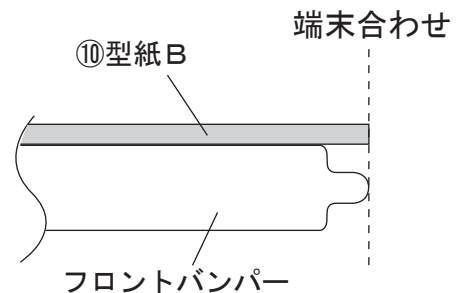


7. ⑩型紙Bをバンパー端末に合わせて貼り付けます。
(左図参照)
8. ⑩型紙Bの穴開け位置をキリ等でマーキングします。
(左図参照)

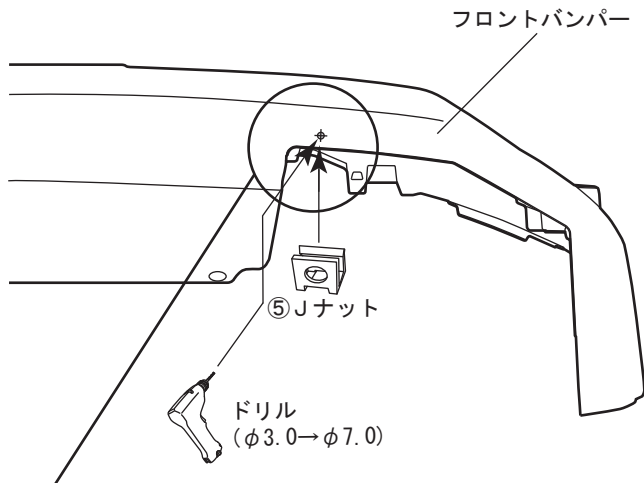
⑩型紙B貼り付け方法詳細図



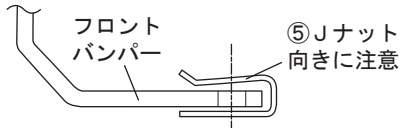
B-B断面図



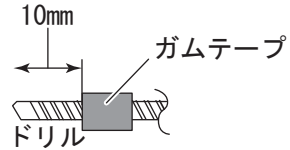
LH図示 ※RHも同様に



⑤ Jナット取付け方法詳細図



9. ⑩型紙Bを剥がし、マーキングした位置をドリルで穴を開けます。
(ドリルφ3.0→φ7.0)
(左図参照)



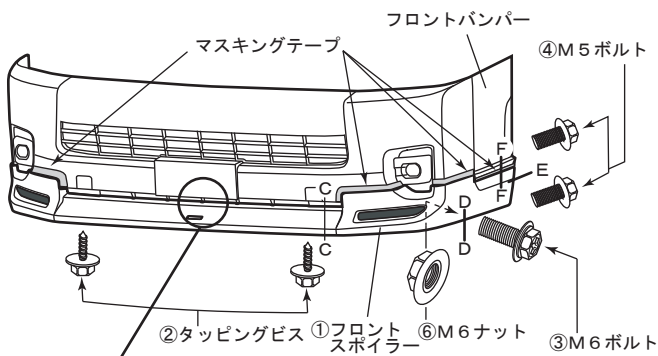
👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

10. 開けた穴に⑤ Jナットを差し込みます。
(左図参照)

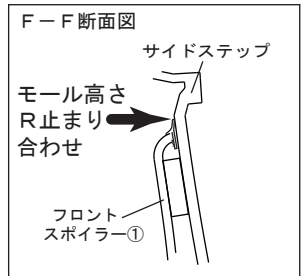
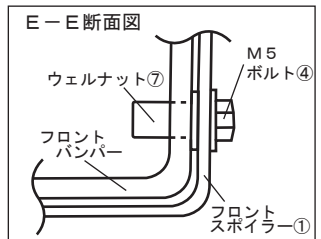
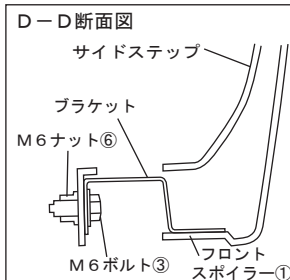
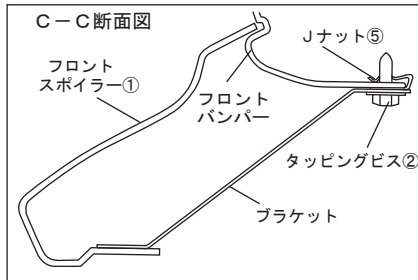
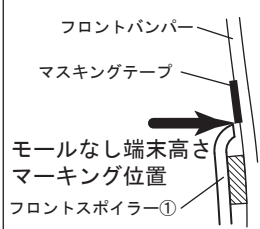
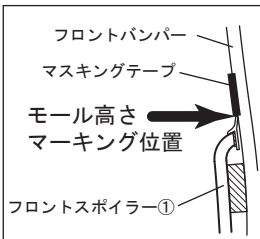
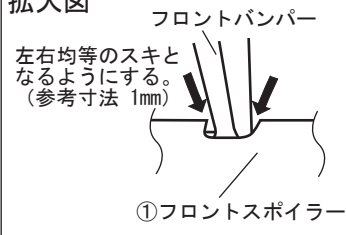
11. ①フロントスポイラーをフロントバンパーに左図の要領でかぶせ、位置合わせをして、下面フロント部を②タッピングビスで、下面サイド部を③M6ボルトと⑥M6ナットで、フェンダーアーチ部を④M5ボルトで仮固定します。
(左図参照)

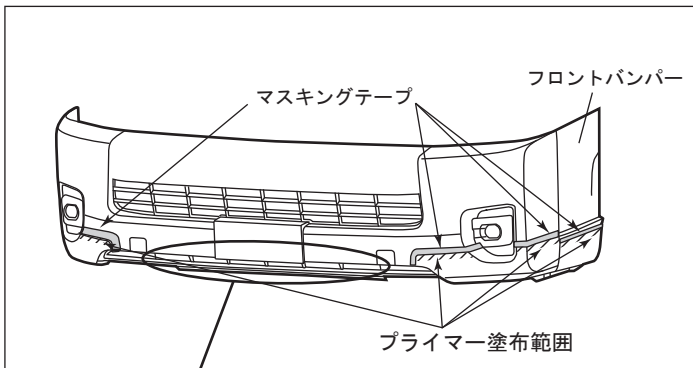
12. ①フロントスポイラーのエンドモール上端を合わせてマスキングテープを貼り付けます。(左図参照)

13. ①フロントスポイラーを取り外します。

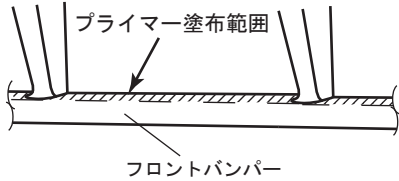


拡大図



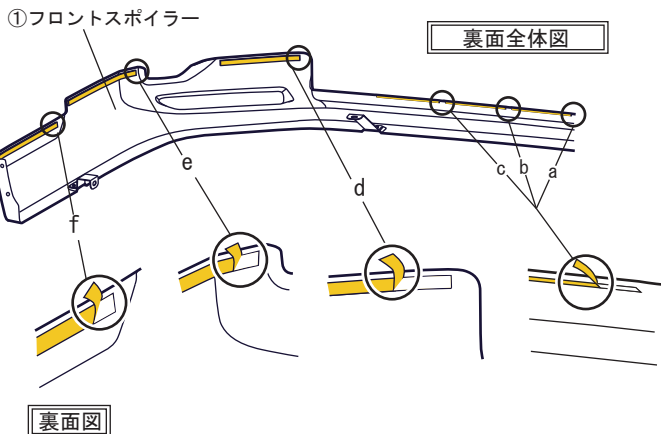
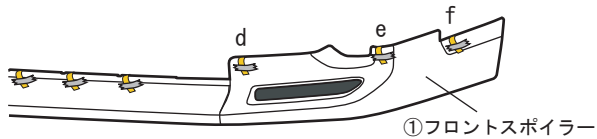


拡大図



👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

LH図示 ※RHも同様に



14. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部）を脱脂します。

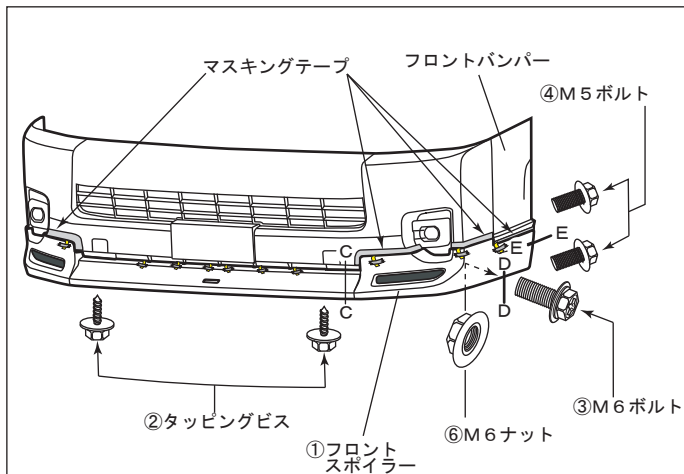
15. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑧PACプライマーK500を塗布します。

👉 アドバイス

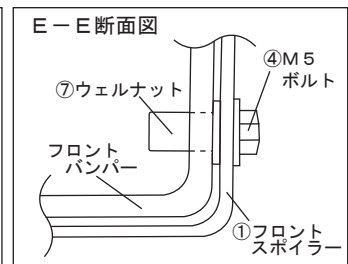
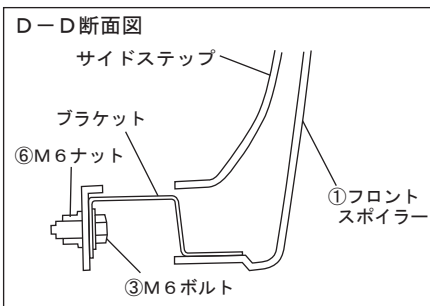
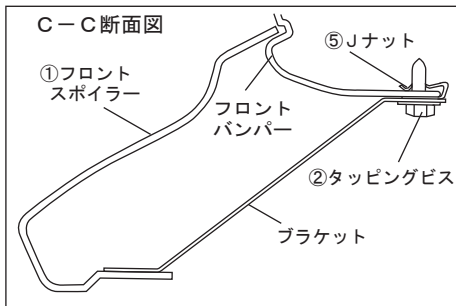
- PACプライマーK-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
- PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

16. ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付けます。
(左図参照)

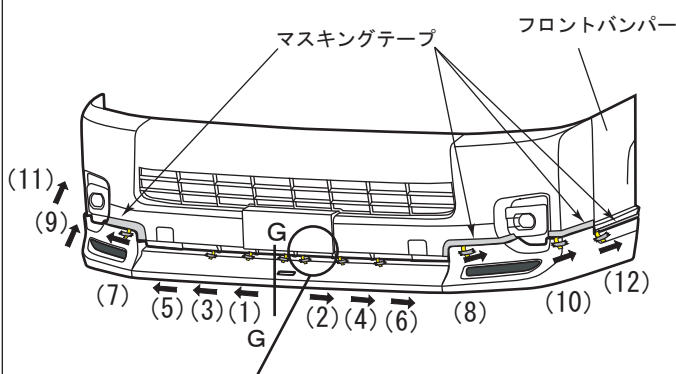
2. 取付け



- ①フロントスポイラーをマスキングテープに合わせ車両バンパーにかぶせます。
- ①フロントスポイラーのブラケットを②タッピングビスと③M6 ボルトと⑥M6 ナットで仮固定します。
- サイドステップ部を④M5 ボルトとバンパーに入れておいた⑦ウェルナットで仮固定します。(左図参照)

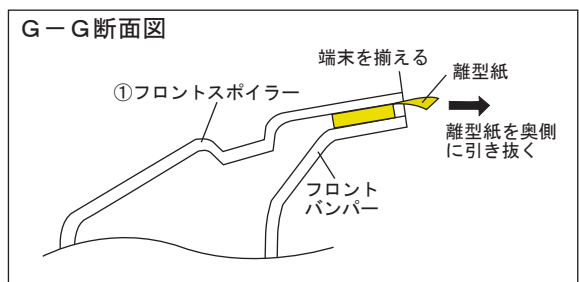
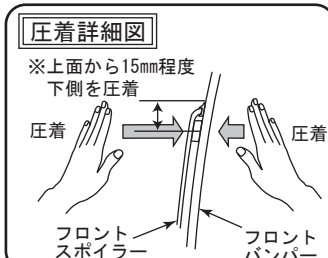
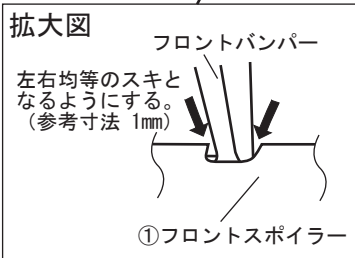


※離型紙を引き抜く順序 (左右均等に)



- バンパー開口部の端末とスポイラーの端末が揃うように合わせます。次に、開口部の柱とスポイラーの切欠きが左右均等になるように合わせ、両面テープ離型紙を (1) ~ (12) の順に引き抜きながら外側に向けて圧着します。

※離型紙を引き抜く際に、スポイラーの取り付け位置が変わらない様に注意し、前後左右の隙間が均一であることをご確認ください。

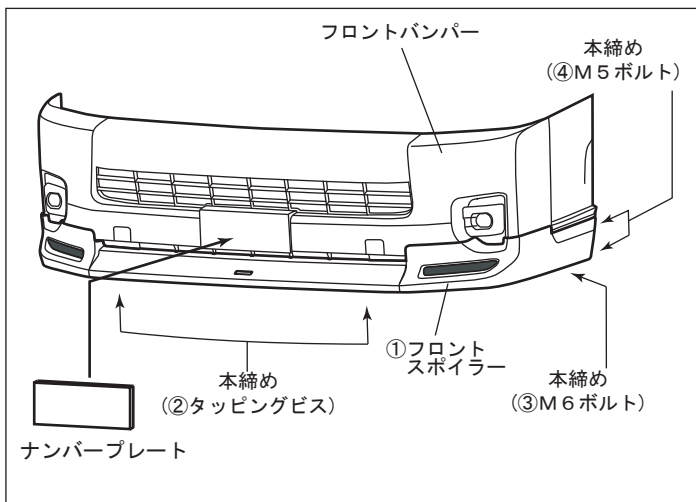


📢 アドバイス: (1) ~ (6) の離形紙は切れやすいため、奥側に引き抜いてください。(F-F断面参照)

📢 アドバイス: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

📢 アドバイス: 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。

⚠️ 警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。



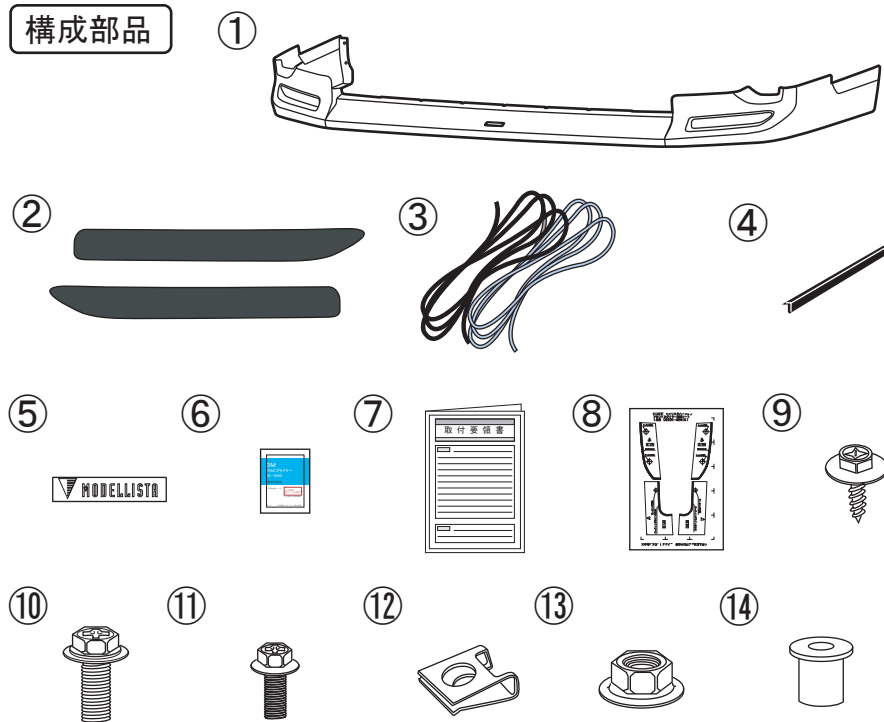
5. 全てのマスキングテープを剥がします。
6. 両面テープ接着部に浮きがない事を確認し、再度両面テープ貼付部を圧着します。
7. ①フロントスポイラー圧着後、3時間以上放置してから仮締めしてある②タッピングビス、③M6ボルト、④M5ボルトを本締めします。

※本締めの際に、電動ドライバーを使用しないでください。

8. 車両修理書に従って、ナンバープレートを取り付けます。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	黒フィルム	R/L各1
③	エンドモール	グレー：1 黒：1
④	エンドモール	黒：1
⑤	エンブレム	1
⑥	PACプライマー-K500	1
⑦	取付要領書	1
⑧	型紙シート	1
⑨	タッピングビス	2
⑩	M6ボルト	2
⑪	M5ボルト	4
⑫	Jナット	2
⑬	M6ナット	2
⑭	ウェルナット	4

モール（※）③推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色	塗装色（色記号）	モール色
ホワイト(058)	グレー	ラグジュアリーパールトーンング（2QD）	グレー
ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	グレー	ペーjemタリック（4R4）	グレー
プラチナホワイトパールマイカ(089)	グレー	ページュ(4V6)	グレー
シルバーマイカメタリック(1E7)	グレー	ライトイエロー（559）	グレー
ブラックマイカ(209)	ブラック	アーバンカーキ（6X3）	グレー
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)	ブラック	ダークブルーマイカメタリック(8P4)	ブラック

フロントスポイラーの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①フロントスポイラーをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面をマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。（本製品の素材は＞PPE＜です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

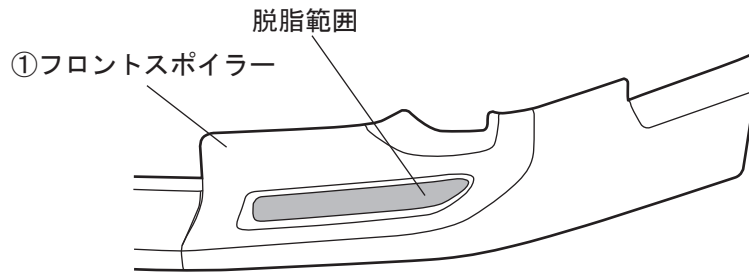
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。
変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

黒フィルムの貼り付け作業

LH図示 ※RHも同様に

1. 塗装終了後、②黒フィルム貼り付ける部分■を脱脂します。



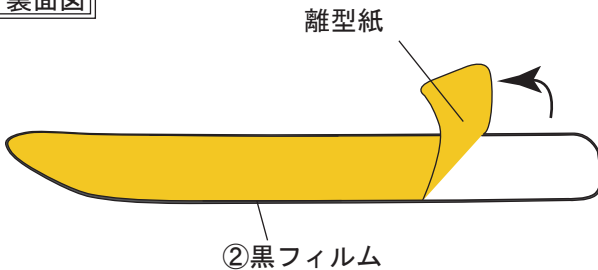
アドバイス

- ・脱脂後は、常温で10分以上放置し乾燥させてください。

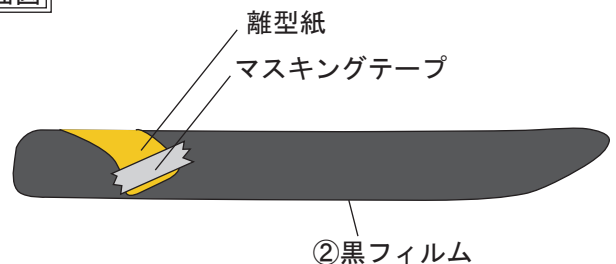
LH図示 ※RHも同様に

2. ②黒フィルムの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付けます。

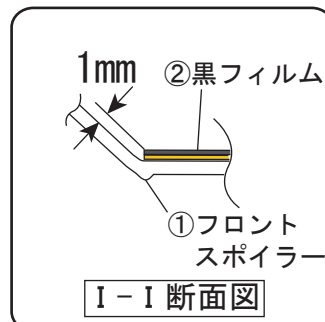
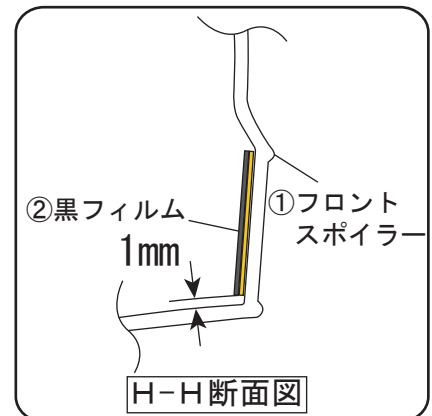
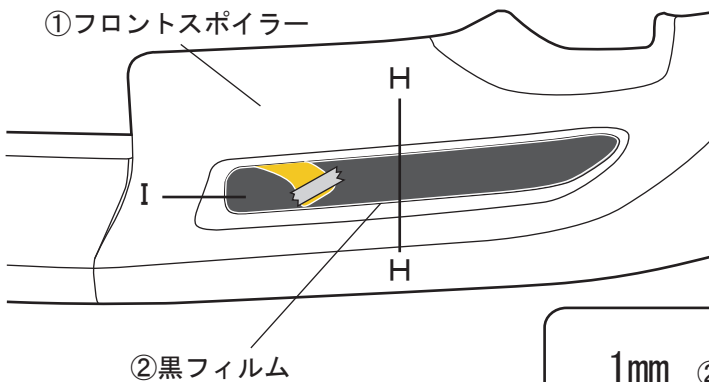
裏面図



表面図



3. ①フロントスポイラーと②黒フィルムのスキ間が図に示すような寸法になるように、両面テープ離型紙を引き抜きながら外側に向けて圧着します。



エンドモールの貼り付け作業

1. ③④エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑥PACプライマー-K500を塗布します。

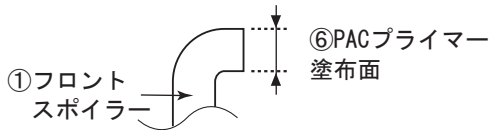


アドバイス

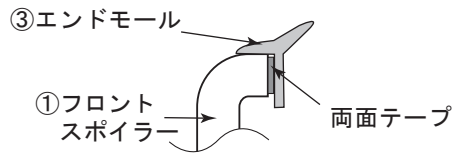
- PACプライマー-K-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
- PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- PACプライマー-K-500はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 下図の要領でエンドモールを貼り付けます。

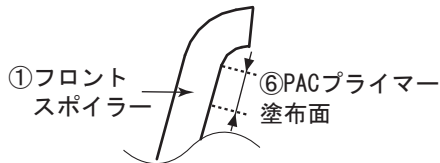
一般断面拡大



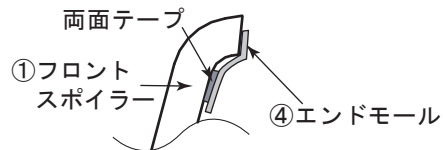
③エンドモール断面拡大



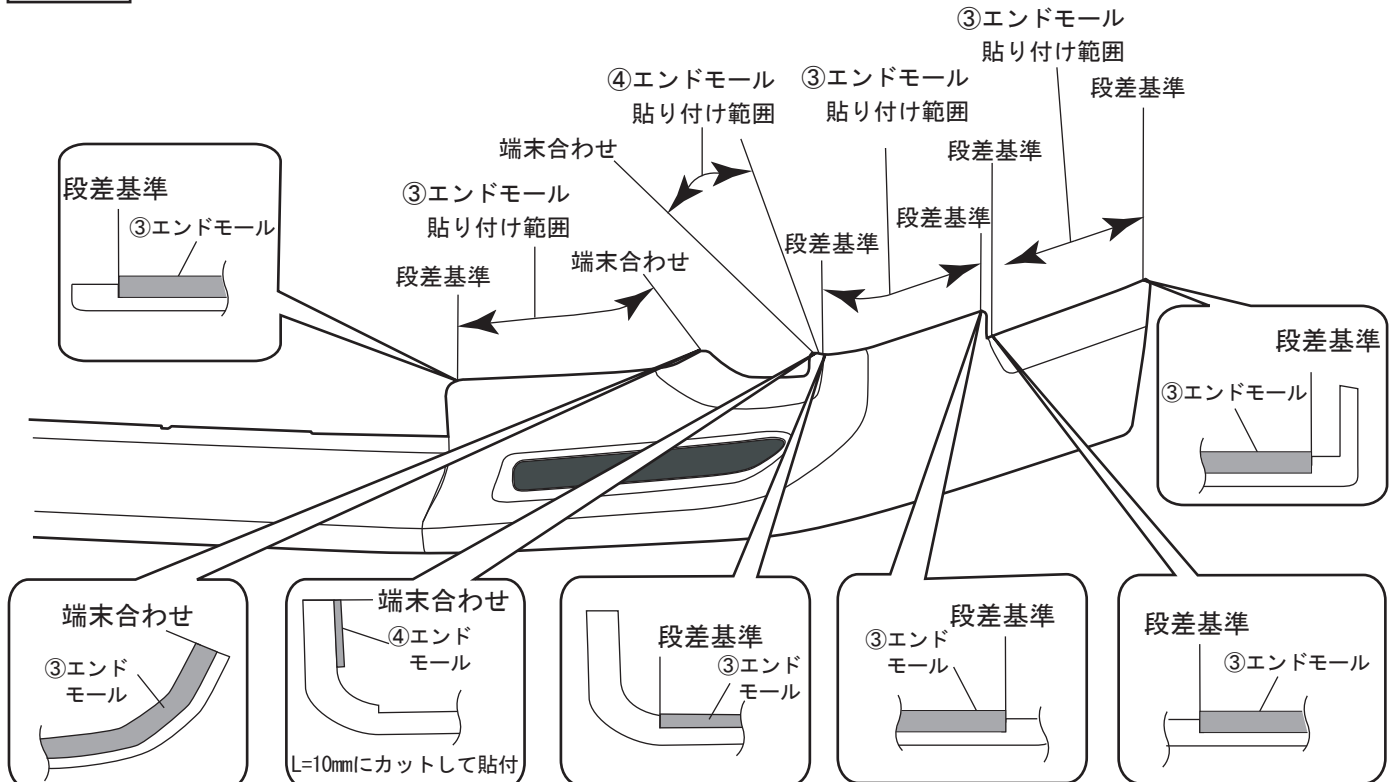
一般断面拡大



④エンドモール断面拡大

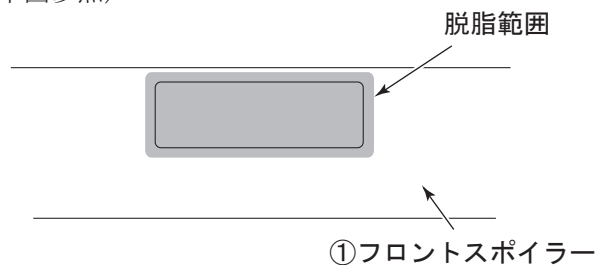


LH図示 ※RHも同様に



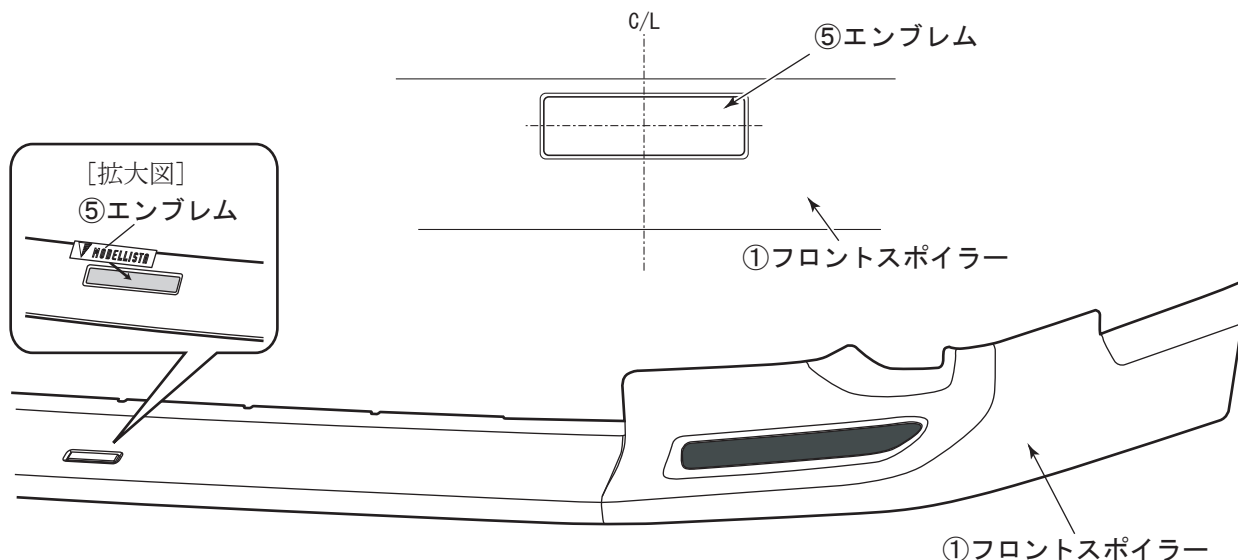
エンブレムプレートの貼り付け作業

- ①フロントスポイラーセンター部にあるエンブレムプレート座面の■部を脱脂します。
(下図参照)



△注意：PACプライマー K-500 は使用しません。

- ⑤エンブレムを座面センター位置に貼り付けます。(下図参照)



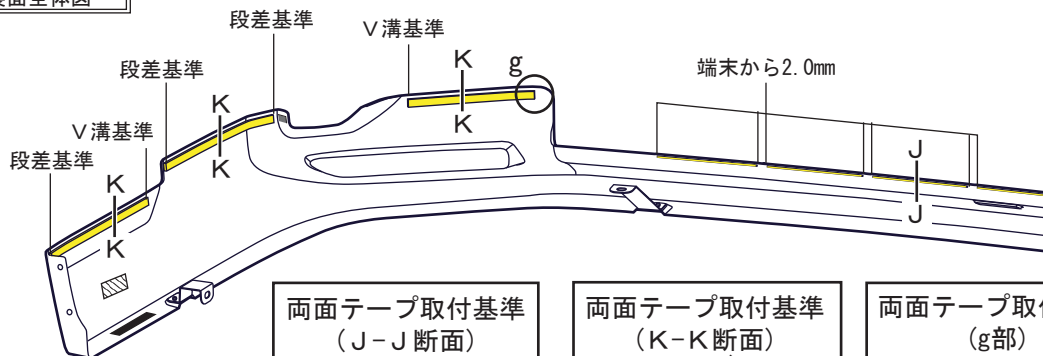
補修キット両面テープ貼り付け

- 補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

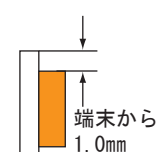
※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500相当）を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に

裏面全体図

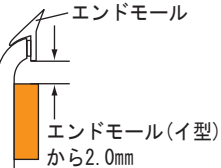


両面テープ取付基準
(J-J断面)



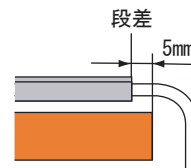
R乗り上げ無きこと

両面テープ取付基準
(K-K断面)



エンドモールに
乗り上げ無きこと

両面テープ取付基準
(g部)



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

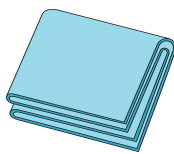


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



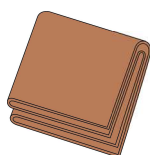
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



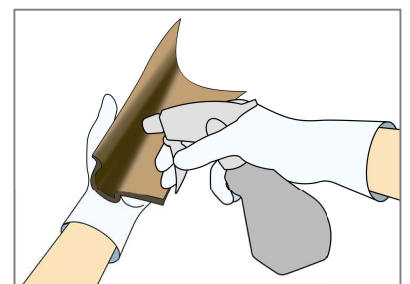
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

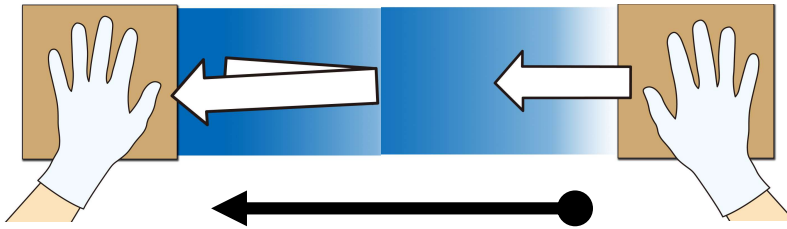
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

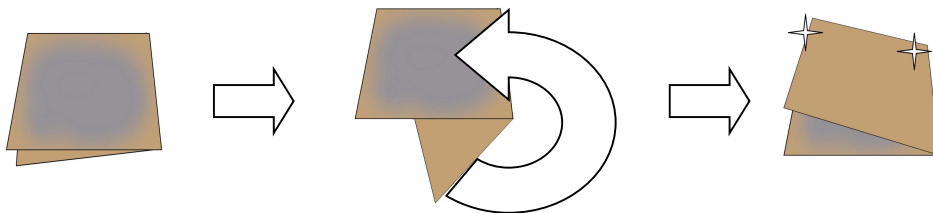
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。